

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA		THE YS MENS CLUB OF ATSUGI
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED IN 2004		4-16-19 NAKACHO AT SUGI KANAGAWA JAPAN 〒243-0018 TEL 046(223)1441 担当主事 吉永貴弘

2013年12月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第112号

万年クラブ会長 ささやかな祈りがあるとすれば、自分以外の周囲に心を寄せる
 主 池田湘南・沖縄部部長 みんなで楽しく奉仕
 渡辺東日本区理事 いざ立て
 題 アジア地域会長 未来を始めよう、今すぐに
 国際会長 全ての世界へ出て行こう

12月強調月間 (EMC/MC)

希望はわたくしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。

ローマ信徒への手紙5章5節 田中勝子選

10月例会報告

卓話 マトリョーシカのルーツは？

会員 北村文雄さん



湯河原クラブで永年活躍してこられた北村さんは小田原箱根地域でもCS活動を熱心に行っている一方、古式火縄銃を趣味としていらっしや

います。今回のお話につき、火縄銃「種子島」のお話も次の機会にお約束をいただきました。みなさんも今から次のお話も楽しみにしています。

マトリョーシカについては皆様よくご存知かと思いますが、ロシアの民族衣装を着た木製の少女の挽物人形で、胴を割ると中から一回り小さい人形が現れ、それを割ると、さらに小さな人形が現れ、これらを並べて飾っておくのも可愛い世界的に有名な民芸品です。なんとこの人形のルーツは箱根にあるのです。

19世紀末鉄道事業で財をなしたマントフ夫妻がモスクワ郊外に文化センターを開設、芸術、文化の保護

育成につとめました。その中の文化施設の一つに「児童教育」という玩具工房があり、そこにある時、日本の組子人形の「福祿寿」が持ち込まれました。マントフ夫人と工房のスタッフたちは、これに大変興味を示し、これを真似た入れ子人形を作ることになりました。ロシアの著名な画家セルゲイ・マチュエリンのスケッチをもとに工房の名轆轤師のスピョーズドチキンによってマトリョーシカ第1号ができました。1890年のことです。ちなみにこの人形のモデルになった女の子の愛称マトリョーシカがそのまま人形の名前となりました。今でもマトリョーシカの原型となった「福祿寿」はザゴルスクの玩具博物館に展示されています。

箱根は木々が茂り、古代から木器の生産が盛んで、江戸時代には木象嵌細工や寄木細工といったいろいろの木の良い木目を組み合わせた工芸品が生み出され東海道を往来する人や湯治客に人気の土産品となっていました。初期は轆轤を手で回していましたが、やがて水力を利用するようになり、工芸品の生産はますます盛んとなり、いろいろな優れた品が現れるようになりました。その一つが「組

例会データ 11月		在籍会員 18人
会 員	9人	メイキャッツプ済み 出席率 78%
ビジター	人	
ゲ ス ト	人	
合 計	9人	

例会のご案内	会 長	万年 孝助
原則として第4水曜日18時 半から2時間	副会長	石井 芳隆
	副会長	谷口 四郎
お問い合わせ先 Tel 046-223-1441 吉永貴弘	副会長	田中 勝子
	書 記	千葉 裕子
	会 計	岩淵 正弘

子細工十二卯」で一つの卵を割ると次々に12個の卵が出てくるというものでした。これが原点となり組子細工七福神や色変わり達磨などがお土産品として人気を博すようになりました。

ちょうどその頃、世は明治となり、箱根に大勢の異人さんが避暑、観光で訪れるようになりました。老舗の宮ノ下富士屋の古い宿帳にはロシア人の名前も多く載っています。その一人が組子細工の「福禄寿」をお土産に買って帰った可能性が高いのです。

マトリョーシカのルーツが七福神ということに関しては日ロ両国の間でも、どちらが本家本元というような話は全くなく、大変友好的に認め合っています。ソ連時代の昭和56年にはマトリョーシカー組がソ連大使館から箱根町に贈られており、また平成2年7月ソ連中央テレビが箱根を訪れ、箱根町にマトリョーシカー組が寄贈されています。

遠い極東の地で育まれた組子細工がロシアに辿り着き、乙女に姿を変え、世界中の人に愛されているということに対してロシアの方たちは我々日本人よりより強くロマンを感じているようです。ちょっとロシア人が好きになりました。(小林 秀)

チャリティーラン



10月19日横浜YMCA 恒例のチャリティーランが横浜港の見える丘公園で行われました。当日は曇り空で、肌寒い一日でした。私たちの募金で代走として厚木YMCAの日本語学科の5人の方に走ってもらいました。

ベトナムからチーム唯一人の2年生の元気なダット君、スリランカからのロッシェン君とジャニス君台湾からのロ君、韓国からの紅一点でホノルルマラソンに毎年出場していたコンさん。

コンさんは今でも走っているそうですが、あとの男性4人は日本に来てからは運動不足という人ばかり。ただダット君は去年も参加している経験者。昨年の経験を参考に走り方を考え、上位入賞を目標に、みんなよく頑張りました。800mはいきなりの走行

距離としては若い人でも相当苦しいもの。5人の懸命の走りに拍手をみんなで精一杯おくりました。

お昼休憩時間、感想を聞いたところみなさんとても楽しかったよし、きっと日本留学の楽しい思い出の一齣となったことでしょう。ありがとう。

二つの提案

来年以降も日本語学科の生徒さんに代走をお願いするのだったら二つのことを提案したいと思います。

1. 留学生ここにありといった仮装、例えばお国自慢の帽子のようなものをかぶって走ってはどうか。仮装優秀賞がもらえるかも。

2. 代走者にねぎらいのお茶の一杯も差し上げたいと思うのですが、あいにく私たちの役目が賞品引き渡しで解散後相当時間かかりますので、その間待たせるのはと申したためらってきました。もし参加賞はもっと早い時間から引渡しできるなら、式後の引き渡し時間を短縮でき、有志で気のきいた喫茶にでも誘うことができ、会話も弾むと思うのですが。

12月活動予定

12月2日(月) クラブ打ち合わせ

18時半から30分間 第2例会の打ち合わせをします。みなさんご出席ください。

12月2日(月) 区大会準備打ち合わせ

19時から20時半まで

その後、引き続き区大会打ち合わせに入ります。ワイズのみなさんが来たくなるような素晴らしい大会スローガンを考え、11月末日までに会長までファクスでお送りください。席上で審査、採用を決める予定です。

12月3日(火) Y・Ys 協議会

19時から20時半まで 中央YMCA(関内)

今回は厚木クラブが当番ですので、開会30分ほど前に着き、準備をお手伝いください。

12月14日(土) クリスマス祝会 17時～

厚木YMCAのクリスマス祝会に参加

1月22日(水) 1月例会 新年祝賀会

クラブから新年会らしいお弁当を出していただきます。皆さんもできたらお菓子、果物、お料理なんでも少しで結構ですからご持参ください。日本語学科の生徒さんを招いての楽しい会にしたいと思います。